



本村幼稚園 3月の園だより

令和2年3月18日

港区立本村幼稚園長 山村 登洋

新しい世界へ「一人一人が輝く」

園長 山村 登洋

残り1ヶ月、令和元年度最後の3月を子供たちと楽しく、また、進学、進級に向けての準備の月としていた私たちにとって、この度のコロナ感染防止による臨時休園は、大変残念であることには間違いありません。しかし、子供たちの健康、安全、命を考えれば、この措置も理解できます。このような状況ではありましたが、はと組「修了式」、りす組「終業式」が無事に終わることができて、本当に嬉しく思います。保護者の皆様、誠にありがとうございます。



さて、過日は「生活発表会」にご来園いただきまして誠にありがとうございました。とりわけ、遊びの中での友達のかかわり合い、話し合い、それを実際に試してみる、また、それを振り返りブラッシュアップしていく、そんな活動を通して、はと、りす組のどの子も見事に演じきった、達成感のある生活発表会であったと思います。保護者の皆様が演じていただいたパプリカのダンス、ショート劇形式の間違えさがしクイズは、子供たちはもちろん地域、教職員も大変楽しませていただきました。本村幼稚園ならではの一体感のある生活発表会となりました。心から感謝を申し上げます。

この1年間で本村幼稚園のお子さん一人一人は大きく成長することができたと思います。年少のりす組は、年長として新しい1年を迎えることができます。4月に進級したはと組としての活躍が今から楽しみでもあります。また、年長のはと組は小学校へ立派に巣立っていきました。今まで慣れ親しんできた幼稚園という環境から新しい仲間との出会いへと向かっていきます。園で経験してきたうれしい事、楽しい事、悲しい事、苦しい事等一つ一つが、みんなの宝物です。出会った友達、仲間、そして先生たちとの大切な心の交わりが、一人一人に大きな世界を経験させてくれたと思います。これから歩み出そうとしている道は、さらに広く大きな世界です。そこには、期待や希望、喜びがあると同時に不安や時には悲しみもあるのです。その中であって、自分というかけがえのないたった一つの存在を大切に、それぞれが輝いてほしいと願っています。

子供たちとの出会いの中で、子供たちの笑顔は、私の心を支え、豊かにしてくれる大切な宝物となっていました。これから子供たちがそれぞれの持ち味を発揮しながら子供らしく新しい世界へ踏み出してほしいと願っています。今後も大切な日々を子供に寄り添い共に歩んでゆければ幸いです。

最後になりますが、この1年間、本村幼稚園、そして子供たちを影から支え、応援していただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。「ワンチーム本村幼稚園」最高でした。

「子育て3箇条」

- ① 「大好きだよ」と我が子に伝わるように伝え続けてください。お子さんの自己肯定感の向上に繋がります。
- ② 自分で物事の決定ができるように聞いてあげてください。お子さんの考える力が育ちます。
- ③ 感謝の気持ちを忘れずに子育てを楽しんでください。お子さんの協調性が育ちます。

